

蘇州市日本食品消費動向調査

2012年11月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

農林水産・食品部

上海事務所

【免責事項】

ジェトロは、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害及び利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。これは、たとえば、ジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。

アンケート返送先 FAX : 03-3582-7378

e-mail : AFC@jetro. go. jp

日本貿易振興機構 農林水産・食品調査課宛

● ジェトロアンケート ●

調査タイトル：蘇州市日本食品消費動向調査

蘇州市日本食品消費動向調査報告書をお読みいただいた後、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

■質問1：今回、本報告書で提供させていただきました「蘇州市日本食品消費動向調査」について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

■質問2：本調査をご覧になり、実際にビジネスにつながった例がありましたらご記入ください。

■質問3：今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

■御所族をご記入ください。 ■ご所属をご記入ください。

【必須】 <input type="checkbox"/> 大企業 <input type="checkbox"/> 中小企業 <input type="checkbox"/> その他	御社・団体名（任意）	
	部署名（任意）	
	※質問3をお答えいただいた方は、ジェトロからお話をお伺いする場合がございますので、ご連絡差し上げてもよろしい場合、以下の欄もご記入ください。（任意）	
	ふりがな	
	お名前	
	お電話番号	メールアドレス

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針（<http://www.jetro.go.jp/privacy/>）に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～

蘇州市日本食品消費動向調査

1. 蘇州市の概要.....	5
1-1 蘇州市の概要.....	5
1-2 蘇州市における日本産農林水産物・食品の輸入の状況.....	7
2. 蘇州市民の食文化や食全般のトレンド.....	8
2-1 蘇州市消費者の輸入食品および日本食品に対する意識.....	8
2-2 食全般のトレンド（地元消費者の関心事項）.....	9
(1) 安心できる食品を求めた「自家製、手づくりブーム」.....	9
(2) 「おいしさ」を重視、消費者のグルメ化.....	10
(3) 輸入食品の購入チャネルの多様化.....	10
2-3 日本食品、日本食レストランのトレンド.....	12
(1) 消費者に支持されている日本食品は、お菓子や寿司・刺し身.....	12
(2) 分子ガストロノミーへの注目.....	13
2-4 輸入食品の購入者、外食店舗の利用者の実態.....	14
3. 蘇州市における小売の現状.....	15
3-1 日本産食品を取扱う主要な小売店・百貨店.....	15
(1) 日系百貨店・スーパー.....	15
(2) 外資系スーパー.....	16
(3) ローカル百貨店・スーパー.....	18
3-2 日本産食品の主な流通ルートおよび取扱業者.....	19
(1) 流通ルート.....	19
(2) 日本食品の取扱業者について.....	20
3-3 日本産および日系企業現地生産品の販売動向.....	20
3-4 日本産、日系企業の現地生産品の人気・売れ筋商品.....	21
(1) 菓子類.....	21
(2) 飲料.....	22
(3) カットサラダ.....	22
(4) 牛乳.....	22
(5) オリーブオイル.....	22
3-5 競合品、売れ筋商品の成功事例分析（韓国製バナナ牛乳の成功事例）.....	23
3-6 日本産品の類似商品.....	24
4. 外食産業の現状.....	25
4-1 日本の外食産業の進出状況.....	25
4-2 現地で人気の日本食レストラン.....	25
(1) 食べ放題を取り入れた「朝日屋」.....	26
(2) 中国人向けの味付けのテイクアウトの寿司フランチャイズ店.....	26
4-3 現地で浸透している外国レストラン、外食チェーンの成功要因.....	27
(1) 味や習慣を中国人に合わせる努力をしているレストラン.....	27
(2) ロコミでも人気が高い韓国料理店.....	27
(3) 2011年、蘇州市民が最も好きなレストランに選ばれた「外婆家」.....	27
5. 業務用日本食品の流通.....	29
6. おわりに.....	29

1. 蘇州市の概要

1-1 蘇州市の概要

「住みやすい蘇州 働きやすい蘇州」と一般にいわれ、「東洋のベニス」と称される蘇州市は、江蘇省において最も経済的発展を遂げている。同市は、上海市からは車で約1時間半、高速鉄道では約30分の距離に位置している。2012年4月には待望の地下鉄1号線が開通しており、現在は地下鉄2号線、3号線、4号線の建設も進められている。そのうち、3号線は2015年～2016年ごろには上海市の地下鉄11号線と繋がる予定であり今後、蘇州市－上海市間の交通の利便性はより一層高まることは間違いない。蘇州市には東西に蘇州工業園区と蘇州高新区があり、1990年代前半から海外企業の誘致を本格化させ、工業都市として経済発展を遂げてきた。日系企業数が500社を突破した蘇州高新技術開発区（通称「新区」）では現在、誘致企業の重点をこれまでの「製造業」からソフトウェアやサービスアウトソーシング企業、研究開発企業等へとシフトし始め、持続可能な経済発展を目指している。

蘇州市政府は安定した労働力を確保するための対策も数多く講じており、非蘇州市戸籍者の子供であっても蘇州市の学校で義務教育が受けられるような環境づくりを行うなど、非蘇州市戸籍者の戸籍問題解決にも力を入れている。このほか、身分証明書を提示すれば無料で職業紹介や職業研修を受けられ、かつ蘇州市戸籍者と同様の社会保障を享受できるなどの施策を講じている。こうした姿勢は非蘇州市戸籍の労働者から評価を受け、蘇州市は8年連続で「出稼ぎ労働者に最も歓迎される都市」に選出されている。

出稼ぎ労働者を魅了する多くの政策を打ち出している蘇州市では、最低賃金基準は、全国水準を超えている。2012年3月14日付けの『揚子晩報』によると同市の常住人口は1300万人を超え、非蘇州市戸籍人口はその約50%の約700万と深セン市に次ぐ全国第二番目の「移民都市」となっている。

多くの沿海都市では、住みやすく働きやすい環境が出稼ぎ労働者の定着を促している一方、「人手不足」に頭を悩ませている。一方蘇州市は、安定して労働力を確保できるため高い経済発展を遂げているといえる。

<参考>

<http://www.yangtse.com/system/2012/03/14/012924340.shtml>

<全国最低賃金基準トップ5>

No.	都市名称	最低賃金 (RMB)
1	深セン市	1,500
2	上海市	1,450
3	新疆	1,340
4	江蘇省	1,320
5	天津市	1,310
	浙江省	1,310

出所：各都市労働・社会保障局の公式サイト

蘇州市の生産総額は2011年には1兆元を越え、北京、上海、広州に続いて「1兆元都市」の仲間入りを果たしている。蘇州市の消費財の小売総額は2,830億元（2011年）、市民1人当たりの可処分所得は33,070元（2011年）と江蘇省トップであり、高い経済発展に伴い、消費者の購買力も向上している。

<2011年江蘇省主要市の基礎データ>

省	市	GDP (億元)	1人当たり可 処分所得 (元)	小売総額 (億元)
江 蘇 省	蘇州市	10,500.00	33,070	2,830.00
	南京市	6,145.52	32,200	2,670.30
	無錫市	6,880.15	31,638	2,122.72

出所：蘇州市統計局 (http://www.sztjj.gov.cn/Info_Detail.asp?id=19543)

南京市 (<http://www.niti.gov.cn/siteId/4/pageId/71/columnId/8136/articleId/86594/DisplayInfo.aspx>)

無錫市 (<http://www.stats-sh.gov.cn/fxbg/201204/241870.html>)

1－2 蘇州市における日本産農林水産物・食品の輸入の状況

蘇州市における日本産食品の輸入総額等に関する公式データはないが、蘇州市に隣接する上海市では、2012年上半期（1月～6月）の輸入食品の輸入総額は36.8億ドルで、前年同期比25%増と大幅な増加傾向にある。食品輸入総額の75.3%を占める27.2億ドルが一般貿易方式（輸入税、増地税を支払って輸入する方式）によるものであった。日本産食品の輸入状況については、2011年3月に発生した東日本大震災およびその後の原子力発電所の事故による放射性物質の放出問題以降初めて増加しており、前年同期比5.1%増の4,000万ドルと回復している。蘇州市の小売店関係者によると、「蘇州市で販売されている日本産農林水産物や食品の多くは上海市の卸売業者や問屋から仕入れている」といい、上海市税関の食品輸入量のデータは、蘇州市における日本産農林水産物・食品の輸入状況を理解する際の参考となる。中国の輸入食品市場の今後の展望については「2018年には中国は世界最大の輸入食品消費国となり、その市場規模は4,800億元に達する」と予測されているほか、今後は「80後」、
「90後」と称される若い世代が消費を牽引すると見られている。この世代は、海外留学や旅行、インターネットの影響を強く受けた世代であり、日本や韓国、欧米諸国のライフスタイルの影響を受けている。こうした世代が今後、輸入食品市場の成長を牽引していくことは想像に難くない。

<参考> 上海市税関食品輸入量のデータ

<http://shanghai.customs.gov.cn/publish/portal27/tab4535/module23456/info380774.htm>

2. 蘇州市民の食文化や食全般のトレンド

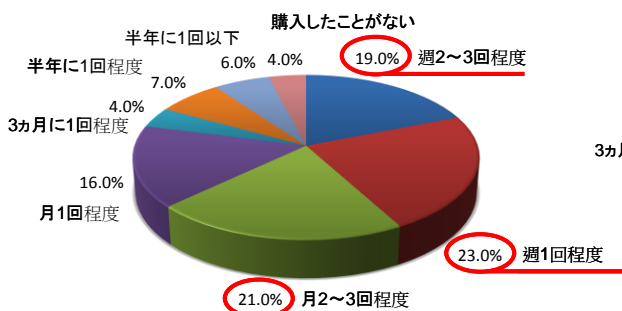
2-1 蘇州市消費者の輸入食品および日本食品に対する意識

海外企業が多く進出する蘇州市には、駐在員向けのスーパーやレストランが多い。また、現地の外資系企業で働くなどを背景に、外資系企業の本社のある外国など海外の文化への理解の深い中国人消費者も多数いる。上述を背景に、蘇州市消費者の食を選ぶ際の選択肢は多様なものとなっている。

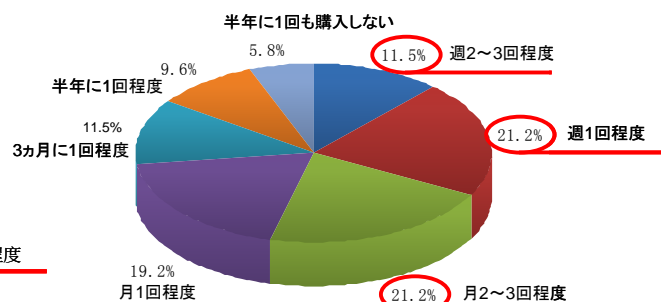
2012年7月、蘇州市消費者の日本産食品をはじめとする輸入食品に対する意識等を把握するため、世帯別月収が4,000元以上の蘇州市消費者を対象にインターネット上でのアンケート調査を実施した。本調査結果によると「日本産食品を含む輸入食品を購入したことがある」と回答したモニターは100名中96名にのぼり、そのうち23名(23%)が「毎週1回は輸入食品を購入」しており、回答者の約6割が毎月複数回は輸入食品を購入していることがわかった。

日本産食品についても、回答者(52名)の約5割が毎月数回は日本産食品を購入しており、蘇州市の消費者には定期的に輸入食品および日本産食品を購入する習慣が定着していることが分かる。

輸入食品を購入する頻度 (N=100)



日本産食品を購入する頻度 (N=52)



輸入食品・日本産食品を購入する理由 (複数回答)

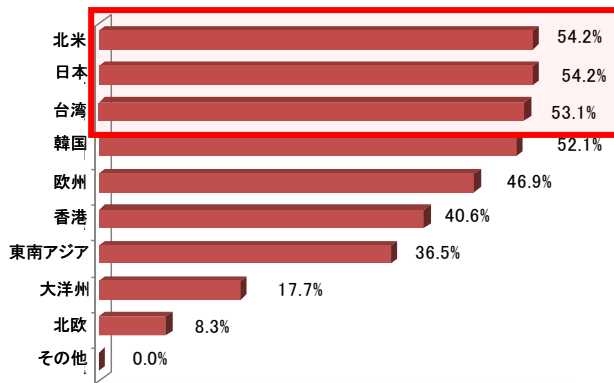
No.	購入理由	回答者数	割合
1	おいしい	74	77.1%
2	品質がよい	62	64.6%
3	安全だと思うから	54	56.3%
4	原産地が良い	40	41.7%
5	健康に良い	40	41.7%
6	価格	18	18.8%
7	広告やプロモーション	18	18.8%
8	高級感がある	17	17.7%
9	パッケージが良い	13	13.5%
10	その他	0	0.0%

No.	購入理由	回答者数	割合
1	おいしい	45	86.5%
2	品質がよい	37	71.2%
3	安全だと思うから	27	51.9%
4	健康に良い	26	50.0%
5	原産地が良い	24	46.2%
6	価格	13	25.0%
7	高級感がある	11	21.2%
8	パッケージが良い	11	21.2%
9	広告やプロモーション	5	9.6%
10	その他	0	0.0%

出所：Embrain Infobridge China 社調べ

購入理由については、輸入食品・日本産食品購入者のいずれにおいても「おいしいから」との回答が「品質」や「安全」を上回り最も多く、消費者は「味」を重視していることが分かる。

よく購入する輸入食品の原産地



好きな輸入食品のカテゴリー

No.	カテゴリー	割合	No.	カテゴリー	割合
1	お菓子、デザート	78.1%	7	肉類	19.8%
2	くだもの	59.4%	8	水産物類	18.8%
3	酒類	51.0%	9	米類	17.7%
4	乳製品	46.9%	10	麺類	16.7%
5	飲料	44.8%	11	調味料	16.7%
6	シリアル類	28.1%	12	野菜	15.6%

(N=96、多数選択)

出所：Embrain Infobridge China 社調べ

「よく購入する輸入食品」の原産地としては、日本が米国とならび最も人気が高く、台湾や韓国などの近隣アジア地域が続いた。また、「好きな輸入食品」のカテゴリーについては、お菓子・デザート類が約 80%と圧倒的多数を占めた。蘇州市の日本産食品取扱スーパー関係者によると「若い消費者や親や祖父母が子供や孫へ買い与えるケースが多い」とのことだ。

輸入食品は、頻繁に贈り物をする文化が根付く中国において、高級感や味わい、パッケージの美しさから「面子」を保てる贈り物としても好まれる傾向にあるようだ。

2-2 食全般のトレンド（地元消費者の関心事項）

(1) 安心できる食品を求めた「自家製、手づくりブーム」

近年、食の安全性が問われる問題が相次いでいる中国において、国民の多くが食品の安全・品質問題に高い関心を持っている。メラミンが混入した粉ミルクを飲んだ乳幼児数名が死亡し、約 30 万人が被害を受けた「メラミン入り牛乳事件」（2008 年）などは日本でも報道されて高い注目を集めた。一方、中国国内ではその後も食の安全を著しく脅かす事件が後を絶たない。

こうした現状を受け、蘇州市を含め中国において「自家製、手作り」ブームが起きている。自家製、手作りブームを後押ししているのは「厨房小家電」などと称される種類や機能が豊富な調理用家電である。家電量販店やネットショップ、テレビ通販などでは季節を問わず豆乳製造機やジューサー、フードミキサー、ホームベーカリー、ヨーグルトメーカーなどを販売している。人気ブランドは「Joyoung（九陽）」（中国）、「supor（蘇泊尔）」（中国）、「galanz（格蘭士）」（中国）、「POVOS（奔騰）」（中国）、「Midea（美的）」（中国）などのローカルブランドである。

調理用家電へのニーズは、深刻な食品安全問題がメディアで取り上げられるたびに、高まる傾向にある。四川広播電視台のニュース番組でも、調理用家電を取り上げ、「自分で作ったほうが安心だ」と話す消費者を紹介している。同番組によると、取材で訪れた蘇州市内のあるスーパーでは「もやし栽培機」と「ヨーグルトメーカー」（ヨーグルト製造器）が 1 日数十台は売れているといい、購入者の多くがホワイトカラー層

であるという。「もやし栽培機」は2011年前後から中国各地で基準値を上回る量の化学薬品を複数使用した「毒もやし事件」が相次いで発生していることを受け、ネットを中心に人気が出た商品である。また、大手乳製品メーカーのヨーグルトからメラミンが検出されるなどの事件がたびたび報道されたこともあり、ヨーグルトメーカーの人気が高まっているようだ。

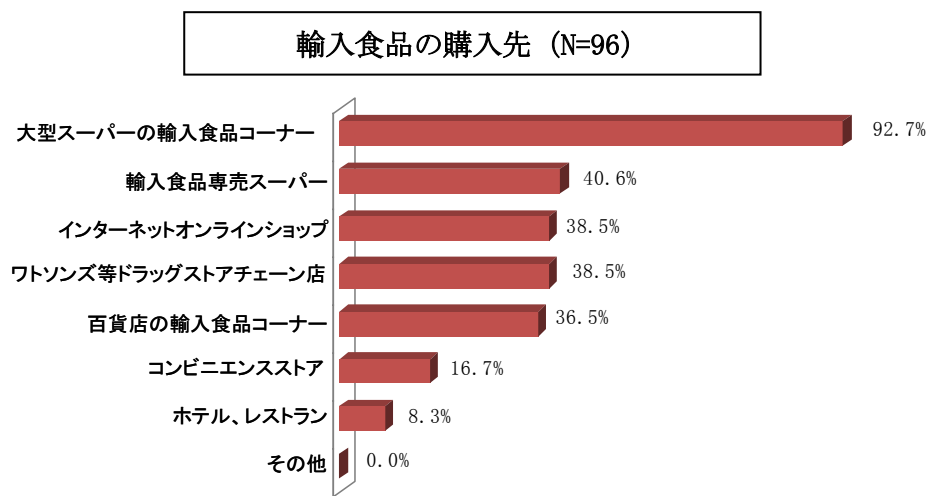
2012年7月5日付けの地方紙「鎮江日報」でも、「食品安全問題が相次ぐなか、『自家製族』が流行し始めている」というタイトルでキッチン家電を愛用する江蘇省鎮江市の家庭を取り上げている。「成長期の子供がアイスクリームを好きなのだが、市販のものはカロリーが高く、添加物も多く入っているので手作りしている」、「自分で作ったものには添加物は一切入っていないので、子供から大人まで安心して口にすることができる」などといった消費者の声を紹介しており、調理用家電が家庭に浸透していることがうかがえる。

(2) 「おいしさ」を重視、消費者のグルメ化

蘇州市の市民は輸入食品購入時に、味、品質、安全性を重視する傾向があるが、消費者100名に対して実施したアンケート調査結果によると、最も重視する点は「おいしい」ことである。また、本調査の一環で、蘇州市内の輸入品を扱うスーパーで買い物カートいっぱい米国産シリアルや東南アジア産のカップ麺、日本産スナック菓子などの輸入食品を詰めた若い男女に話を聞いた。彼らのコメントは、「これらはすべて以前食べたことがあるもの。輸入食品を買う際には値段よりも味を重視している。おいしければまた買う」という内容であり、「おいしさ」を重視する姿勢がここでも見られた。

(3) 輸入食品の購入チャネルの多様化

インターネットの普及に伴い、輸入食品をインターネット通販やテレビ通販で購入する消費者が急増している。2012年6月末の時点で中国のインターネットユーザー人口は、5億人を超え、そのうちインターネットショッピングの利用者数は2.1億人であった。インターネット利用者数は、毎年、増加傾向にあり、2011年のインターネットショッピング市場取引額は前年比67.8%増の7735.6億元に達した。物流会社の普及やオンライン決済利用者の増加が同市場の成長を後押ししている。



前述のアンケート調査でも、輸入食品の購入先に「インターネットのオンラインショップ」をあげたモニターが全体の約 40%にのぼるなど、インターネットショッピングは蘇州市の消費者にも強く浸透している。2011 年 5 月 4 日の新華網によると、蘇州市のインターネットユーザーによるインターネットショッピングの総利用額は 100 億元を超える 108 億元であったという。

<2010 年の都市別インターネットショッピング利用総額>

No.	都市名称	利用総額 (RMB)
1	上海市	409 億
2	北京市	368 億
3	杭州市	152 億
4	広州市	150 億
5	深セン市	112 億
6	蘇州市	108 億

出所：新華網江蘇頻道

<参考>

<http://www.js.xinhuanet.com/>

こうした中、若者を中心に人気の B to C サイト「1 号店」(www.yihaodian.com) や中国インターネット最大手の「騰訊控股」傘下の B to C サイト「QQ 商城」などが相次ぎ輸入食品の専門ページを設置している。加えて世界 500 強企業の「中粮集団 (COFCO)」も 2008 年より食品をオンライン販売する B to C サイト「中粮我買網」(URL: <http://www.womai.com>) を開設し、ネット通販事業に乗り出している。

<参考>

【1 号店のウェブサイト】

<http://www.yihaodian.com/>

【拍拍網「進口食品館」のウェブサイト】

<http://food.paipai.com/import>

実店舗を持たない販売チャネルとしては、インターネット通販のほかにテレビ通販でも輸入食品が販売されている。テレビ通販業界の 2011 年の市場取引額は 455 億元とネット通販の 17 分の 1 程度であるものの、右肩上がりの成長を遂げており、2013 年には 638 億元を突破すると予想されている。

中国のテレビ通販は中国政府の規制に従ってテレビ局がテレビ通販専門のチャンネルを開設し、放映しているケースが多い。テレビ通販業界でも蘇州市に熱い視線を注いでおり、江蘇省のテレビ局「江蘇省広播電視总台」もグループ傘下にテレビ通販会社「好享購物股フェン有限公司」を設立し、24 時間放送のテレビ通販チャンネル「好享購」を開設している。同社はテレビ通販チャンネルのほか、テレビ通販で放送された製品などが購入できるネット通販サイトやカタログでの販売も行っており、2011 年の受注総額は 25 億元を超えている。また、業界 2 位のテレビ通販会社「快樂購」も 2012 年 7 月に蘇州市の衛星チャンネルに 24 時間放送のテレビ通販チャンネルを開通したばかりである。

テレビ通販チャンネルで取り扱われる輸入食品の品目数、種類は現在のところ実店

舗に比べひけをとっている。上海メディアグループと韓国の通販会社の合弁会社「東方 CJ」が放映する通販番組「東方購物」は、最も豊富な品揃えをしている。同番組の2011年の売上高は11.5億ドル（カタログ通販、ネット通販での売上も含む）と業界トップで、蘇州市での放映はされていないものの、公式サイト上で番組を視聴することができ、またネットや電話で注文すれば蘇州市への配送も行っている。

＜東方購物 売上数トップ 20＞（2012年7月28日時点）

No.	商品	原産地	価格 (RMB)
1	サプリメント（50粒/本×3本+30粒/本×2本）	米国	298
2	赤ワイン750ml/本×6本	フランス	398
3	オリーブオイル（1L×3本+サービス品）	イタリア	269
4	オレンジ（8.8kg/44個）	米国	198
5	サプリメント（50粒/本×4本+サービス品）	米国	198
6	牛乳（1L/本×15本+サービス品）	ニュージーランド	268
7	ヨーグルト（125g×48個）	スペイン	248
8	サプリメント（120枚/本×4本+サービス品）	中国	298
9	低脂肪牛乳（1L×15本+サービス品）	ニュージーランド	268
10	ざくろ（500g×3袋+サービス品）	中国	298
11	サプリメント（24粒/包×15包/箱×2）	中国	566
12	スネ肉、サーロイン（2kg）	ニュージーランド	153
13	キウイ（3kg）	チリ	208
14	くらげ100g×3袋、ハスの種200g×2袋 ざくろ215g×4袋+サービス品	中国	258
15	生くるみ（171g×7袋+サービス品）	米国	268
16	牛乳（250ml/本×48本）	ニュージーランド	278
17	牛乳（1L/本×15本+サービス品）	ドイツ	199
18	オレンジ（12個）+りんご（8個）	米国 ニュージーランド	100
19	サプリメント（100枚×3本+サービス品）	中国	199
20	牛乳（1L×15本+サービス品）	ニュージーランド	272

出所：<http://www.ocj.com.cn/>

2-3 日本食品、日本食レストランのトレンド

(1) 消費者に支持されている日本食品は、お菓子や寿司・刺し身

蘇州市における日本食品のトレンドについては、メディアでの報道記事などを探したが特定の品目や商品についての記事は見つからなかった。これは日本の食品が突出したトレンドやブームとしてではなく、消費者の日常生活に浸透した存在になりつつあるというのが理由といえるかもしれない。

前述のアンケート調査において、輸入品、現地産品を含む好きな日本食品について

訪ねたところ、回答数 78 のうち日本の大手メーカーのお菓子との回答が 25 という結果になったことに加え、寿司・刺し身（まぐろ、サーモン）という回答も同率 1 位という結果となった。

実地調査で行った日本産食品販売へのヒアリングでは、一番の売れ行きは「お菓子類」であり、好きな日本食品について行ったアンケート結果でも、日本の大手メーカーのチョコレートやキャンディなどを挙げた回答者が多かった。これらチョコレートやキャンディなどの日本食品はトレンド商品ではなく、味が気に入られた商品であるといえる。

輸入品、現地産品を含む好きな日本食品 (N=78)

NO	食品名称	回答数	%
1	日本の大手メーカーのお菓子 (チョコレート、キャンディ、ビスケット、チーズサンドイッチビスケット、ドラ焼き、宇治抹茶サンドクッキー、ロールカステラ、アイスクリーム、ポテトチップス)	25	32.0%
1	寿司・刺し身（まぐろ、サーモン）	25	32.0%
3	日本の大手メーカーや外食チェーンによるラーメン	9	11.5 %
4	日本の大手メーカーの乳製品	5	6.4%
5	清酒	3	3.9%
6	醤油	2	2.6%
6	魚の缶詰	2	2.6%
6	わさび	2	2.6%
6	「優の良品」の製品	2	2.6%

※青字で表記した商品は、日本産または日系企業現地産品と誤認されているもの

出所：Embrain Infobridge CHINA Co.Ltd 社資料をもとに作成

(2) 分子ガストロノミーへの注目

レストランのトレンドについては、2012年7月ごろに蘇州市のレストランが同市ではじめて分子ガストロノミー (Molecular Gastronomy) ¹を取り入れた料理の提供を始めたことがニュースで取り上げられた。なかでも日本の温泉卵が新触感でおいしいと紹介されている。温泉卵は過去に中国の人気ドラマで小道具として使われたり、日本へ旅行した人々がブログなどで紹介することが多く、認知されているようだ。

<参考>

人民網江蘇視窓【「分子料理」が蘇州のレストランに登場】(2012年7月25日)
<http://js.people.com.cn/html/2012/07/25/135625.html>

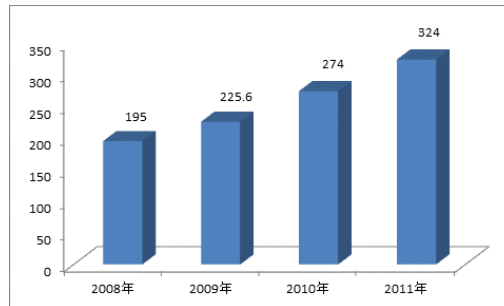
¹ 分子ガストロノミーとは、料理の過程で変化する食材の仕組みを科学的見地から分析、解明しこれまで経験や勘で伝承されていた調理法、味覚、風味、食感を形式化し、調理法の改善、調理時間の短縮、食材の保存、食材の活用、新規食材や新料理の出現、新規調理器具等の開発等での応用が期待される科学的学問分野。

2-4 輸入食品の購入者、外食店舗の利用者の実態

現在中国における輸入食品の主要消費者は30歳～45歳のホワイトカラーおよび海外での留学や生活経験者と言われている。外資系企業が多い蘇州市では、外資系企業で働く従業員なども輸入食品の消費者に含まれるといえる。

一方、蘇州市における宿泊・飲食業の小売総額は毎年増加傾向にあり、今後も成長が期待できる。

＜蘇州市における宿泊・飲食業の小売総額＞単位：億元



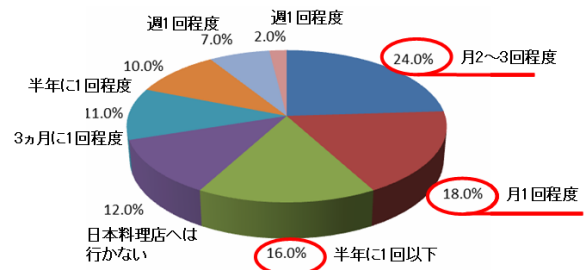
出所：蘇州市統計局

蘇州市消費者100名に行ったインターネット上でのアンケート調査では、100名中75名が週1回以上外食をしていると回答しており、日本食店については42名が月1回以上利用しているという結果がでた。

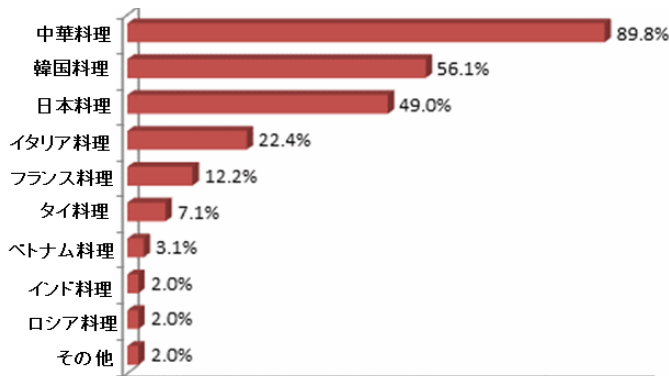
外食回数 (N=100)



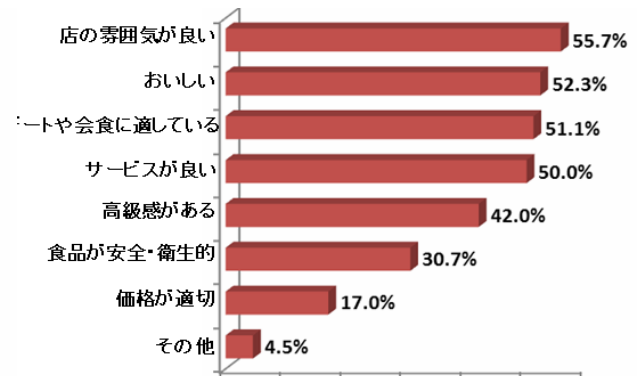
日本食店の利用回数 (N=100)



よく利用する飲食店 (N=100。複数回答)



日本食店利用理由 (N=88。複数回答)



3. 蘇州市における小売の現状

3-1 日本産食品を取扱う主要な小売店・百貨店

蘇州市で日本産食品を取り扱う小売店・百貨店は大きく①日系小売②非日系外資小売③地場系小売の3タイプに分けられる。①日系小売としては、「蘇州泉屋百貨有限公司」や現地日本人向けの「しんせん館」などといった日系百貨店・スーパーが挙げられる。②非日系外資小売としては、台湾「頂新国際集団」とイギリスの小売大手「テスコ」による合弁スーパー「TESCO（楽購）」などの外資系スーパーが挙げられる。第③地場系小売としては、中国小売大手の「北京華聯集団」が展開する高級食品スーパー「BHG Market Place」などのローカルスーパーが挙げられる。

(1) 日系百貨店・スーパー

蘇州市最大級の日系百貨店といえば、大阪府に本社を持つ「イズミヤ」の中国第1号店である「蘇州泉屋百貨有限公司」だ。2011年11月1日に日系企業が多い新区にグランドオープンした。地下1階の食品スーパーは日本産輸入食品や現地産日本食品の品揃えが豊富で、地下鉄1号線「玉山路駅」と地下通路で直結しているなどアクセスも良好であることから現地で生活する日本人や日本での生活経験がある中国人のみならず、一般消費者にも人気が高い。同店は4階にキッズランドを設けているため30代の家族連れも多く利用しているようだ。



【蘇州泉屋の外観】



【地下1階のスーパー】

同店地下1階のスーパーマーケットで買い物をしていた利用客に話を聞いたところ、「日本の原発事故に伴う放射性物質の問題があり日本産食品の安全面について心配したが、今は全く気にしていない」、「こどもが日本産のお菓子を好きなのだが、泉屋はお菓子の取り揃えが豊富などでよく利用する」などの声が聞かれた。

このほか、上海市や無錫市にも店舗を構える日本人向けスーパーの「しんせん館」、「CITY LIFE」や「J's フレッシュマーケット」などがある。これら店舗の主要な消費者層は日本人駐在員あるいは現地採用の日本人とその家族となっており、店内では、店の付近に住居やオフィスがある消費者の姿をみかけることが多い。



【しんせん館の外観】



【CITY LIFE の外観】

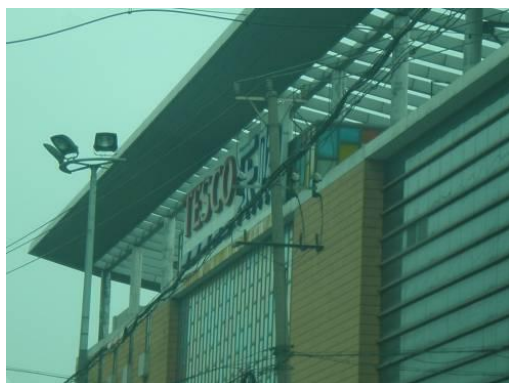
<連絡先リスト>

No.	名称・URL	店舗名称	住所
1	蘇州泉屋百貨有限公司 http://www.sz-izumiya.com/	-	高新区長江路 211 号
2	しんせん館 http://www.shinsenkan.com/	錦麗苑店	新区滨河路 1333 号錦麗苑 11 号 101 室
		名城花園店	新区獅山路 277 号新港名城花園 66 幢 102
		四季新家园店	工業園区星漢街 99 号四季新家园九幢 1 階
3	CITY LIFE (都市生活) ※HP 無し	新区店	新区獅山路 213 号
		園区 1 号店	園区天域二期商業街 108 号
		園区 2 号店	園区環球 188 購物中心 302
4	J's フレッシュマーケット	-	蘇州市新区獅山路 215 号 ロイヤルガーデン 1F

経済開発区があり観光地としても有名な呉中区に、今後、小売大手のマックスバリュなどが「イオンマックスバリュ（蘇州）商業有限公司（永旺美思佰樂（蘇州）商業有限公司）」を設立する計画を持っており、同社では、現在は 2013 年春頃の開業に向けた準備を進めている。日本最大手の総合小売企業の蘇州進出により、日本産食品の更なる流通が期待される。

(2) 外資系スーパー

蘇州市の主要外資系スーパーには「TESCO (楽購)」やフランス系の「カルフル (家乐福)」と「オーシャン (欧尚)」、ドイツ系の「METRO (麦德龍)」などがある。こうした外資系スーパーでは、輸入食品の専門売場を設けており、日本産食品のほかにも米国やヨーロッパをはじめ、東南アジアや韓国からの輸入食品が売られている。



【TESCO（楽購）の外観】



【カルフル（家楽福）の外観】

こうした外資系スーパーは 2 階から 3 階建ての場合が多く、広い店内には学生のほかカップルや家族連れなどの姿が目立ち、外国人よりは現地市民の方が多い。

輸入食品は通常、店内の一角に専門スペースが設けられ、原産地ごとに調味料や飲料、お菓子やシリアルなどが売られている。現地市民も陳列棚の前に立ち、興味がある商品を手に取りはしているが、実際に輸入品を買い物籠にいれ購入しているのは外国人が目立った。

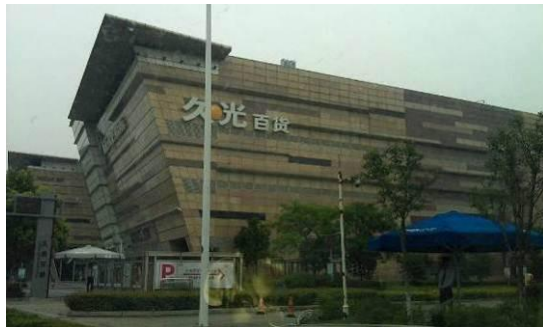
<連絡先リスト>

No.	名称		住所
1	TESCO（楽購） http://www.cn.tesco.com/	塔園店	高新区玉山路 99 号
2	カルフル （家楽福） http://www.carrefour.com.cn/	蘇綸店	滄浪区人民南路 239 号
		福星店	滄浪区新城友新路 1188 号
		体育中心店	金閶区三香路 183-184 号
		東環店	工業園区葑誼路 266 号
		万達広場店	平江区人民路(北)3188 号
		中翔店	相城区陽澄湖東路 1 号
3	欧尚超市 http://www.auchan.com.cn/	蘇州店	工業園区金鷄湖路 205 号
4	ウォルマート （沃尔玛） http://www.metro.com.cn/	園区店	工業園区現代大道南 1699 号印象城地下 1 階
		南門店	吳中区東吳北路 288 号
5	METRO （麦德龍） http://www.metro.com.cn/	蘇州高新区商場	高新区長江路 579 号
6	RT-Mart （大潤發） http://www.rt-mart.com.tw/	東環路店	工業園区東環路 1500 号
		蘇福店	滄浪区蘇福路 13 号
		何山店	高新区濱河路 1823 号
		滄関店	高新区文昌路 301 号
		相城店	蘇州相城区華元路 99 号
	宝帯西路店	吳中区宝帯西路 1155 号	

(3) ローカル百貨店・スーパー

蘇州市には、香港利福国際集団有限公司傘下の「香港崇光」(香港そごう)が出資し 2009 年 1 月にオープンした香港系日本式百貨店がある。この店の地下 1 階の食品スーパーには蘇州最大規模といえるほど、日本産食品の種類が豊富に揃えられている。

各品目に多様な種類の商品を取り揃えた店内の作りは他店とは大きく異なる特徴といえる。平日の昼間の消費者数はまばらであったが、夜になると仕事帰りの男女やラフな格好をした地元住民が、同じフロアにあるパン屋やフードコートを利用し、にぎやかであった。



【蘇州久光百貨店】



【大潤発の外観】



【ショッピングモール新蘇天地の地下 1 階に BHG が入居している】

出所：<http://www.beijing-hualian.com/Business.aspx>

ローカル系スーパーのなかでも、外国人や経済的に余裕がある現地市民をターゲットとする輸入食品を数多く取扱う高級スーパーマーケットと、現地市民を対象としたスーパーマーケットに分けられる。

<連絡先リスト>

No.	名称		住所
1	蘇州久光百貨店 http://www.jiu-guang.com/suzhou/	-	工業園区旺墩路 268 号
2	BHG Market Place (北京華聯) http://www.beijing-hualian.com/	新蘇店	金匱区広経南路 219 号
		星海店	工業園区星海街 199 号星海生活広場 B2 楼北区
2		泰華店	滄浪区人民路 23-29 号泰華商

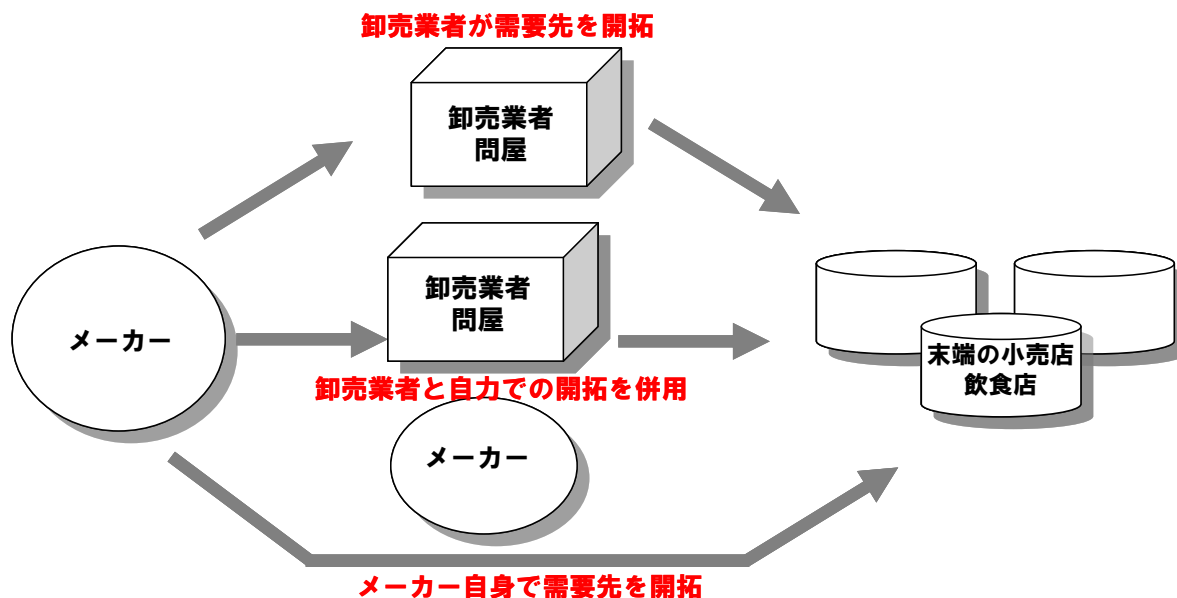
			城西楼
		新蘇店	金閶区石路新蘇天地 B1
3	華潤万家 (CRV) http://www.crvanguard.com.cn/ 約 32 店舗	東渚店	高新区東渚鎮竹園路 209 号美 田財富広場
		綠宝店	高新区長江路 436 号綠宝広場 B1 楼
		石路店	金閶区金門路 108 号时代晶華 B1 楼
		淮海商業 街店	高新区淮海商業街

3-2 日本産食品の主な流通ルートおよび取扱業者

(1) 流通ルート

食品が最終消費地にたどり着くまでの流通については、メーカー自身が主体となって需要先を開拓し流通ルートを確認する場合と、卸売業者・問屋を通じて行う場合がある。蘇州市で業務用食品の生産・販売を行う日系企業や日系の小売店へのヒアリングしたところ「中国系の大手卸売業者・問屋を使っている」、「卸売業者・問屋の活用と自力での開拓を平行している」、「自力での開拓のみで頑張っている」との回答が多かった。そのうち、卸売業者・問屋については、蘇州市の業者ではなく上海市の業者を使っているケースが多いという。上海市と蘇州市が地理的に近いことから、蘇州市に限定して強固なコネクションを持つ業者が育っていないということが背景の一つとして考えられる。

<食品の主な流通ルート>



(2) 日本食品の取扱業者について

蘇州市にある複数の日本産食品を取扱う店舗の現地調査によれば、日本産食品の主要な卸売業者・問屋は以下の通りであった。

<蘇州市で販売されている輸入食品の主要な卸売業者・問屋>

NO.	名称	住所	主な取扱商品
1	上海逍龍信息貿易有限公司 www.sharon.com.cn	上海市徐匯区吳中東路 501 号 4F	日本産食品や日用品。お菓子や調味料、カップラーメン他
2	深セン市一番食品有限公司 http://yifanspsz.ce.c-c.com/ など	深セン市南山区蛇口工業五路南水工業村 7 棟 6 楼	お菓子類他
3	上海東峰実業有限公司 http://shanghaitouhou.com/	上海市閔行区梅富路 38 号 2 幢	お菓子類他
4	上海昇誠貿易有限公司 ウェブサイトなし	上海市徐匯区船厂路 179 号	お菓子類他
5	上海吉寿屋有限公司 http://www.shjishouwu.com/default.asp	上海市梅富路 38 号 2 幢	冷凍食品類他

上述 No.1 の「上海逍龍信息貿易有限公司」(Sharon) は中国 CtoC サイト「タオバオ」が展開する BtoC 向けショッピングサイト「天猫モール」でもネットショップを開設し、お菓子類を中心とした日本産食品を販売している。

<参考>

【上海逍龍の公式ネットショップ】

<http://xiaolongsp.tmall.com/>

3-3 日本産および日系企業現地生産品の販売動向

日本産および日系企業の現地生産品の販売動向を調べるため 2012 年 8 月上旬、蘇州市内のスーパー約 20 店舗にて現地調査を行った。前述のとおり、日本産食品を取扱っている小売店は主に日系の百貨店・小売店および香港系の「香港崇光」(香港そごう) で、これら以外の外資系ハイパーマーケットならびにローカルスーパーではほとんど取扱が確認されなかった。

某外資系ハイパーマーケットの関係者は「元々日本産食品の取扱は非常に少ないが、今後の取扱を増やす予定はない。売場にあるだけ」と回答。

<日系/香港系 A>

	醤油、砂糖、味噌、食塩、食酢、合わせ酢、みりん風調味料、風味調味料、ソース、たれ、わさび、つゆ、ゴマ油、
--	--

日本産食品取扱品目	インスタントカレー・シチュー、調理済みカレー、菓子類、インスタントコーヒー、日本茶、果汁飲料、炭酸飲料、インスタント味噌汁、缶詰、蜂蜜、インスタントラーメン（カップ/袋）、米、アルコール飲料など
現地産製品目	醤油、インスタントスープ、インスタントラーメン（カップ/袋）、食パン、ソーセージ、菓子類、アルコール飲料、牛乳、果汁飲料、野菜ジュース、トマトジュースなど

<外資系ハイパーマーケット A>

日本産食品取扱品目	醤油、菓子類
現地産品目	醤油、インスタントスープ、インスタントラーメン（カップ/袋）、ソーセージ、菓子類、アルコール飲料、野菜ジュース、トマトジュースなど

<現地ローカル A>

日本産食品取扱品目	なし
現地産品目	菓子類、アルコール飲料など

今回実地調査を行った一般消費者向けの地場スーパーでも、日本産食品は販売されていなかった。店の関係者によると「日本産食品は販売していない。輸入食品の取扱自体が少ない」との回答であった。一方、日系企業の現地生産品では、グリコ（中国語：格力高）や明治ブランドの菓子類が多数みかけられ、現地生産品が浸透している印象を受けた。

3-4 日本産、日系企業の現地生産品の人気・売れ筋商品

(1) 菓子類

2012年8月上旬時点で、蘇州市内で日本産食品を取扱う小売店の状況としては、多くの店舗で取扱種類が多かった日本産食品のカテゴリーは菓子類であった。蘇州市消費者100名に対するインターネットアンケート調査でも、「好きな輸入食品のカテゴリー」について回答者の約8割が「お菓子、デザート」を選択しており、菓子類への支持が群を抜いて多かった。菓子類は、親や祖父母が子供、孫へ買い与えるケースのほか、若い消費者が自分や友人などのために購入するケースが多い。また、国産品に比べ値が張るものの、手が出ない値段ではないことも消費者が買いやすい点といえる。

好きな輸入食品のカテゴリー（N=96。複数回答）

No.	カテゴリー	割合	No.	カテゴリー	割合
1	お菓子、デザート	78.1%	7	肉類	19.8%
2	くだもの	59.4%	8	水産物類	18.8%
3	酒類	51.0%	9	米類	17.7%
4	乳製品	46.9%	10	麺類	16.7%
5	飲料	44.8%	11	調味料	16.7%
6	シリアル類	28.1%	12	野菜	15.6%

出所：Embrain Infobridge CHINA Co.Ltd 社調べ

市内の小売店関係者へのヒアリングでも、「よく売れているのはお菓子」との意見が多く、単価 10 元前後が売れ筋のようだ。なかでも小分けのお菓子袋が 4 ～5 連になったミシン目入りの吊り下げタイプのお菓子の人気が高いという。ミニボーロなど、乳幼児も食べることができるお菓子も人気のようだ。日本では 150 円未満ほどの価格のものが 20 元ほどの価格で売られているが、中国ではまだこうした小分けのお菓子が一般的ではない点も消費者を魅了している要因のひとつといえる。

吊り下げタイプのお菓子を購入していた消費者からは「小分けになっているので、こどもの食べ過ぎを防ぐことができる」などの声も聞かれた。

(2) 飲料

飲料も人気が高い商品のひとつで、お茶やコーヒー、炭酸飲料、果汁飲料などのほか、豆乳を販売する店舗もあった。豆乳は中国メーカーの牛乳への不信から日本産の豆乳へも消費者が流れてきているという。日系企業の現地生産品では、「朝日緑源」ブランドの牛乳や「カゴメ」の野菜ジュース、トマトジュースなどが蘇州市の日系、香港系を中心に取扱われており「よく売れている」（関係者）という。

(3) カットサラダ

日本産のものではないが、カットサラダ（中国語：即食沙拉）も蘇州市でよく売れている商品のひとつである。中国で販売されているカットサラダは袋状のものやプラスチック容器に入ったものが主流である。開封すればすぐに食べることができる手軽さが消費者に受けているようだ。通常ドレッシングは別売りであり、カットサラダの人気にともないドレッシングの売上も好調なようだ。

蘇州市内で販売されていたカットサラダのひとつ「田妞」（tian niu）ブランドは、1995 年に設立されたマレーシア資本の「上海亜太国際蔬菜有限公司」のものである。同社は、上海市郊外の金山区に千ムーの敷地内で野菜の栽培から加工を行っている。

登録商標「田妞」は上海市著名商標としても認定されている。上海市だけでなく蘇州市や杭州市、広州市などでも販売されており、「サイゼリヤ」や「一茶一座」などの外食チェーンのほかにも久光百貨や外資系ハイパーマートのオーシャン、ウォルマートなどでも取り扱われている。「ヘルシーで高品質、便利」なカットサラダは健康を気にかける中・上流層に人気が高い。

(4) 牛乳

小売店の資本にかかわらず、どの店舗でも取扱われていた輸入食品は「牛乳」と「オリーブオイル」である。輸入牛乳は複数の国からの輸入品が並べられており、店内の一角に特別コーナーを設けているところも多かった。牛乳の産地は米国、ドイツ、ニュージーランド、オーストラリア産などが多く価格は 14 元前後のものから 30 元前後のものが主流である。牛乳については粉ミルクの安全性が問われる問題や中国の大手メーカーによる品質問題が相次いでいることを受け、安心な牛乳を求める消費者が多い。

(5) オリーブオイル

中国では近年、健康な体づくり、健康維持への意識の高まりにより、食用油メーカーが食用油のパッケージに「コレステロール・ゼロ」などと表記し、ヘルシーさをア

ピールする戦略をとっている。とりわけオリーブオイルは消費者から「体に良い」と認知され売上が伸びている。2011年中国のオリーブオイルの輸入量は約3.2万トンで12年近く前年比60%増の成長を遂げている。2015年には年間の輸入量が16万トンに達するのではとの予測もある²。

中国で販売されているオリーブオイルは、原産国で瓶詰めされたものと、中国国内でビン詰めされたものがある。前者の方が値段は若干高めだが、普段から贈り物をする習慣がある中国では、「面子」が保てる贈り物としても人気が根強い。

3-5 競合品、売れ筋商品の成功事例分析（韓国製バナナ牛乳の成功事例）

今、蘇州市を含む中国で若者を中心に爆発的な人気を集めているのが韓国産の「バナナ牛乳」だ。数年前から代理購入の利用者や韓国への旅行者などによって「おいしさ」が口コミで広がってきた。現在のように「ブーム」となったのは、2012年の韓国ドラマ「屋根部屋の皇太子」の影響が強い。主人公の大好きな飲み物という設定で幾度も画面に登場したことで、「皇太子が好きなバナナ牛乳を飲みたい」、「どこに売っている」などの書き込みがインターネットの掲示板やブログ等で増え、全国に「バナナ牛乳」ブームが拡大していったようだ。

インターネットから火がついた同製品は現在、ネット通販や輸入品取扱スーパーだけでなくローカルスーパー、コンビニエンスストアでも取扱われており、なかにはケース売りをしている店舗もある。蘇州市の小売店関係者も「韓国産バナナ牛乳は大変な売れ行き」であるといっている。2012年7月20日付けの地方紙『銭江晩報』³（浙江省）は、記事の中で同省スーパー関係者の話として、「ずっと注目していた商品であり、韓国で口コミでの評判がよかった。今年の4月に販売を開始してから7月まで、一日あたり1万本あまりを売り上げている。爆発的な売れ行きだ。」というコメントを紹介する記事を載せた。

とりわけ人気が高いバナナ牛乳は韓国「ビングレ」社（binggrae）のもので、同社はほかにもヨーグルト、スナック菓子、アイスクリーム、コーヒー飲料、調製豆乳飲料などの生産、販売を行っている。ビングレ社は、1967年創業の韓国大手食品メーカーである。バナナミルクジュースは韓国で1974年に販売が開始され、35年間で合計50億本⁴を売り上げていると伝えられる。

同社ブランドのバナナ牛乳の人気が中国で拡大している背景には、韓国ドラマの影響や商品の「おいしさ」だけではなく、中国市場を見据えた企業努力にもあるようだ。中国メディアの報道⁵によると、「ビングレ」社は中国市場向けに品質保証期間が4か月のバナナ牛乳を研究開発したほか、商品のパッケージには韓国語のほかに中国語も使用しており、こうした企業努力は中国市場での売上向上に直結している。また、中国メディアにこうした企業努力が報道されることで、ブランドイメージの向上にも繋がっている。

<参考> <http://www.binggrae.cn/>

² <http://gb.cri.cn/27824/2012/04/12/5951s3639938.htm>

³ http://qjwb.zjol.com.cn/html/2012-07/20/content_1638076.htm?div=-1

⁴ <http://www.binggrae.cn/>

⁵ http://news.xinhuanet.com/food/2011-07/26/c_121720770.htm

3-6 日本製品の類似商品

パッケージに日本語がついているもの

蘇州市消費者への上述のアンケート調査において、「好きな日本産食品、または日系企業の現地産品」をたずねたところ、回答数 78 のうち「優の良品」の製品との回答が 2 件あった。「優の良品」とは、香港企業が展開する中国産および海外のお菓子類を販売するチェーン店の名称で、日本企業の資本は一切入っていない。中国大陸のほかシンガポールやフィリピン、米国へも輸出しており、蘇州市でも複数の百貨店やショッピングモール等内のテナントに入っている。商品は香港産、台湾産、タイ産、マレーシア産などが主流だが、一部日本産のものもある。最大の特徴は、パッケージに商品名称や使用した材料などが日本語で記載されている点で、消費者に「日系企業」とであると誤認させやすいと考えられる。

日本企業の資本が一切入っていない企業であっても、社名を日本語読みする、商品に日本語をつけるといった企業が複数存在する。たとえば、台湾独資企業である「味島食品（上海）工業有限公司」は主に日本食材を生産しているが、中国国内で生産している商品であっても、商品名称を日本語で表記しているため、消費者にとっては「日本産または日本企業と関係がある」と誤認されやすい。

輸入品、現地産品を含む好きな日本食品 (N=78)

NO	食品名称	回答数	%
1	日本の大手メーカーのお菓子 (チョコレート、キャンディ、ビスケット、チーズサンドイッチビスケット、ドラ焼き、宇治抹茶サンドクッキー、ロールカステラ、アイスクリーム、ポテトチップス)	25	32.0%
1	寿司・刺し身 (まぐろ、サーモン)	25	32.0%
3	日本の大手メーカーや外食チェーンによるラーメン	9	11.5 %
4	日本の大手メーカーの乳製品	5	6.4%
5	清酒	3	3.9%
6	醤油	2	2.6%
6	魚の缶詰	2	2.6%
6	わさび	2	2.6%
6	「優の良品」の製品	2	2.6%

出所：Embrain Infobridge CHINA Co.Ltd 社調べ

**日本産または
日系企業現地産品と
誤認されている**

4. 外食産業の現状

4-1 日本の外食産業の進出状況

現在、蘇州市に進出している外食分野における主な企業としては、ファミレス大手の「サイゼリヤ」およびカレー専門店の「COCO 壺番屋」が市内にそれぞれ2店舗構えているほか、牛丼の「すき屋」は6店舗を構えている。⁶「上海吉野家」も2012年9月にオープン⁷している。

<蘇州市に進出している主要な日系外食チェーン店>

No.	名称	支店名
1	COCO 壺番屋 ⁸	久光店
		美羅新区店
2	サイゼリヤ ⁹	印象城店
		圓融時代広場店
		万達広場店
		太監弄店
		星海生活広場店
3	すきや ¹⁰	圓融時代広場店
		印象城店
		觀前街店
		新蘇天地店
		万達広場店
蘇綸家樂福店		
4	上海吉野家 ¹¹	石路店

出所：各社の公式サイトを元に作成

4-2 現地で人気の日本食レストラン

蘇州市の日本食料理店は、①商業街といわれる蘇州市中心部、②シンガポール政府が協力してできた工業園区エリア、③日系企業数が500を超えた新区エリアの3カ所に集中している傾向がある。レストランの種類としては、上述の日系外食メーカー資本のチェーン店から、香港や中国大陸資本のチェーン店、中国人オーナーの店等があり、駐在員や接待向けの高級日本食レストランからファミリー向けレストラン、学生なども利用しやすい回転寿司や食べ放題の店などが主流となっている。

アクティブユーザー数4800万人（2012年第2四半期の）の中国最大級口コミサイト「大衆点評」には2012年9月現在、蘇州市内の日本食レストラン計293店舗に関する口コミが掲載されているが、なかでも食べ放題サービスを行うレストランへの

⁶ <http://www.yoshinoyashanghai.com/branch-292.aspx>

⁷ <http://www.zensho.com.cn/outlet.html>

⁸ <https://ichibanya.com.cn/shopmap.asp?ban=1#003>

⁹ http://www.saizeriya.com.cn/cn/shopsearch/index_sz.asp

¹⁰ <http://www.zensho.com.cn/outlet.html>

¹¹ <http://www.yoshinoyashanghai.com/branchlist.aspx?cityid=834>

口コミ件数が多い。日本食レストランは中華料理に比べ単価が高いため、一定の値段で様々な日本食を楽しめる食べ放題サービスが提供できれば地域を問わず中国では消費者を魅了するであろう。

＜「大衆点評」での日本食レストランの口コミ件数ランキング＞

順位	店名	口コミ 総数	キャンペーン	平均予算 (元/人)
1	朝日屋(高新店)	648	食べ放題あり	116
2	魚味亭和風日膳	588	日本食定食屋	29
3	九州拉面館	460	ラーメン店	12
4	味千拉面(観前街店)	435	ラーメン店	37
5	COCO 壺番屋(久光百貨店)	434	カレー店	42
6	朝日屋(観前店)	361	食べ放題あり	120
7	位皇咖喱	304	カレー店	30
8	浅草日本料理(園区店)	256	食べ放題あり	163
9	和三味	191	コース料理あり	272
10	翔賀松谷鉄板焼(道前街店)	190	食べ放題あり	197

出所：「大衆点評」

(1) 食べ放題を取り入れた「朝日屋」

上記ランキング1位と6位の「朝日屋」は中国人オーナーが経営する日本食レストランで、蘇州市内に3店舗構えている。料理の単品価格は、刺身盛り合わせ100元前後、寿司盛り合わせ60元前後、てんぷら15元から40元ほどだが、150元～170元の食べ飲み放題サービスの注文が多いという。関係者へのヒアリングによると、同店利用者の8割が中国人客で、日本人客は2割ほどとのことである。平日の主要な消費者層はOLやサラリーマンといった中間層で、休日・祝日にはグループ客がやってきて食べ放題を注文するという。

「大衆点評」での口コミ件数が最も多かった要因には、ロケーションのよさに加え、全店で団体購入制度を打ち出している点にある。団体購入でチケットを購入すれば、食べ飲み放題が約2割引になるという特典がある。2011年の福島第一原発事故後に売上が一時伸び悩んだが、2012年にはいり回復し始めているという。

(2) 中国人向けの味付けのテイクアウトの寿司フランチャイズ店

「N多寿司」は蘇州市内に複数店舗を持つ若者を中心に人気のテイクアウト式寿司チェーン店である。同店は、握り寿司も販売しているが、主力はカリフォルニアロールなどの巻物で、巻物の具に「肉松」（中国ではポピュラーな豚肉などの水分を除き、味をつけたでんぷ）を使うなど、中国人好みの味付けにした巻寿司を販売している。2008年に蘇州市と同じ江蘇省にある無錫市で誕生した同店は、直営店とフランチャイズの両方を採用し、江蘇省以外にも、浙江省や山東省・青島市などでも営業している。「N多寿司」の人気の秘密は味付けのほかにも手ごろな価格にあり、上記写真左の寿司セットはわずか16元という安さである。また、「大衆点評」などのサイト上で「9元～12元のお寿司が6.9元」などという共同購入キャンペーンを実施しており、

若者に人気が高い。

<参考>

<http://www.nduoshousi.com/>

4-3 現地で浸透している外国レストラン、外食チェーンの成功要因

(1) 味や習慣を中国人に合わせる努力をしているレストラン

レストラン名称：LIRANN（スペイン料理）（印象城）

人気メニュー：イカ墨パエリア、スペイン牛のステーキなど

価格：ステーキ 128 元、パエリア 120 元前後、スペインワイン 300 元／本

客単価：250～300 元

スペイン料理レストランの「LIRANN」が、2010 年に印象城にオープンした。蘇州市にはこの種レストランは、現在のところ 1 軒だけといい、大型ショッピングモール「印象城」の利用者および周辺住民が主要な消費者となっている。本場のスペイン料理が味わえるレストランで、スペイン人をはじめ外国人客のリピーターが多いが、口コミで中国人客も増加しているという。

店内の雰囲気もおしゃれで高級な感じで、接待や外資系企業の会合などにも利用されているという。同店では中国人客を取り込むために、本場の味を維持しつつ、中国人が好む味付けを研究し、改良を重ねているという。また、通常 30 分以上手間ひまかかる料理であっても、外国人客なら我慢できるが、中国のお客は往々にして待ちきれないことが多いといわれ、こうした習慣に合わせて調理方法を変えるなど、工夫をしているという。

(2) 口コミでも人気が高い韓国料理店

韓国料理は、朝鮮族が経営するお店が多く、韓国ドラマの影響などから、近年人気が高まっている。なかでも中国企業「上海盘古餐饮管理有限公司」が展開する焼肉がメインの「Pankoo 釜山料理」は、清潔でおしゃれな店作りと手ごろな価格とおいしさが中・上流層に受けている人気チェーン店である。上海、北京、杭州、蘇州、南京、瀋陽、成都、済南、天津、合肥など全国に 40 余りの店舗を展開している¹²。ショッピングエリアや大型スーパーの附近、消費レベルが中流以上の消費者が住む住宅街附近などに店を出し、蘇州市内にも「久光百貨」などに店を構える。「PANKOO 釜山料理」は 2011 年、「大衆点評」上でお肉 1 皿が 6 元から 20 元節約できるなどの電子クーポンが 40 万回ダウンロードされるなど人気の高さが伺える¹³。

<参考>

<http://www.dianping.com/promo/165667?source=6>

とりわけ外食について消費者はネットで料理店の口コミなどをチェックしてお店を選ぶ、団体購入や電子クーポン制度を活用するといったケースが多い。これらは、日本企業もうまく利用したい販売促進ツールである。

(3) 2011 年、蘇州市民が最も好きなレストランに選ばれた「外婆家」

大衆点評が 2011 年 12 月末までの蘇州市ユーザーの利用状況や消費動向をまとめ

¹² <http://203.156.233.226/index.php>

¹³ <http://news.yesky.com/495/31007495.shtml>

た「蘇州 2011 年度都市生活消費報告」¹⁴において、ユーザーに最も人気が高いレストラントップ 5 が選ばれた。蘇州料理や杭州料理レストランの人気が高く、トップ 5 は中華料理が占めた。

<2011 年蘇州市人気レストラントップ 5>

No.	レストラン名称	ジャンル
1	外婆家餐厅	杭州料理
2	松鶴楼菜館	蘇州料理
3	海底ラオ火鍋	四川料理
4	呉門人家	蘇州料理
5	魚食飯稻土灶館	杭州料理

出所：<http://s.dianping.com/topic/5007693>

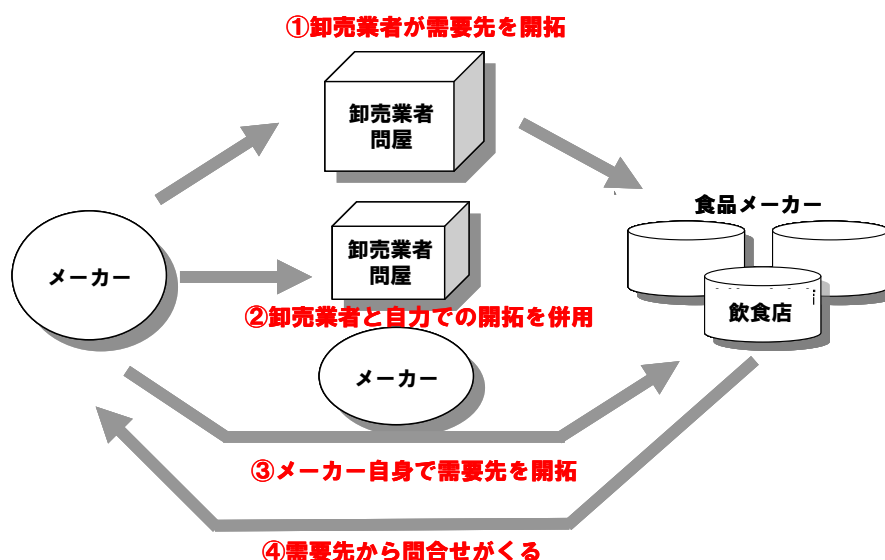
なかでも、トップに選出された杭州料理レストラン「外婆家」は、杭州市で生まれたレストランで、上海や蘇州市にも相次ぎお店をオープンしている若者を中心に人気のあるレストランである。蘇州市内には大型ショッピングモールの「印象城」や「新蘇天地購物中心」に出店しており、「家に帰ってもご飯を作らなくていいよ。おばあちゃんにご飯を作ってあげる」というテーマのもと、非常に手ごろな値段で家庭料理を出している。また、味付けが蘇州料理にも似ていることから、蘇州市民に人気が高いようだ。

¹⁴ <http://s.dianping.com/topic/5007693>

5. 業務用日本食品の流通

業務用の日本食品は主に日系の外食メーカー、ローカル資本の日本食レストラン、食品メーカー向けに水産加工品やスープ、たれ等の各種調味料などが販売されている。近年、中国では中国人消費者の味覚の幅が広がっており、だしやたれを中華料理のアクセントに使用する中華料理店もあるようだ。蘇州市を含む中国国内で業務用の食材を販売している複数のメーカーに需要開拓の方法について質問した。この結果、蘇州市に商品を卸す場合は日本産食品の主な流通ルートとほぼ同様に、①メーカーが需要先を開拓、②卸売業者の活用と自力開拓を併用、③メーカー自身で需要先を開拓するほか、④需要先から問合せがくるケースもあるということが判明した。

<蘇州市での業務用日本食流通の流れ>



6. おわりに

本レポートでは、日本産食品の輸出先としての蘇州市の市場性を把握するため、当該市場における日本食品の消費動向につき調査を実施した。蘇州市の特徴は上海市に隣接する良好な立地と高い購買力である。また、日本産食品の流通環境が整いつつあり、輸入食品および日本産食品への理解が比較的高い都市といえる。

日本産食品の市場参入にあたっては、流通ルートや卸売業者等の選定等のほか、多様化する販売チャネルの研究・活用など消費者行動を理解した展開を考慮することが必須である。また、韓国産のバナナ牛乳のように、インターネットで火がついた人気実店舗にまで広がり、現在は主要なスーパーだけでなくコンビニなどでも販売されているケースなどは、口コミが消費者に与える影響力の強さを物語っている。こうした他国企業の成功事例の研究は大いに役に立つだろう。さらに、蘇州市消費者および取引先に商品の良さを理解してもらう機会を積極的に設けなければ認知度の向上は難しいことを十分に認識し、地道な企業努力を継続して講じていくことも重要といえよう。

2012 年度

蘇州市日本食品消費動向調査

発行 2012 年 11 月

発行所 日本貿易振興機構（ジェトロ）

農林水産・食品部 農林水産・食品調査課

東京都港区赤坂 1-12-32

電話 03（3582）5186

©JETRO（無断転載を禁じます）